

朝日小学校ともに普通学級6学級、特別支援学級2学級で、小学校全体では16学級となります。児童数は、小学校全体で302名となり、前年度より1名減となっております。中学校は、普通学級6学級、特別支援学級2学級の8学級で前年度と同じで、生徒数は147名で前年度より10名減となっております。

2点目は、信頼される学校づくりについてであります。

北海道教育委員会が実施した「教職員の服務規程に関する調査」に関して、会計検査院による会計実地検査が日高管内で行われ、1月28日、新冠小学校においても実施されました。教職員の服務、勤務時間中の組合活動、長期休業中の自宅研修等について関係書類の調査、校長・教頭からの聞き取り調査が行われましたが、特に指摘事項等についてはありませんでした。

3点目は、確かな学力の育成についてであります。

教育課程の管理についてですが、平成23年度から小学校における新学習指導要領の本格実施に向けて、参事が学校を訪問し、円滑な実施に向けて指導を行っているところであります。

また、全国学力・学習状況調査について、今年度と同様、3校とも希望利用の形で参加することとし、継続的な学力と学習状況の把握や改善に役立てていくこととします。

など新冠町と一つのコンサートを作り上げた取組であります。

なお、新年度観光協会がレ・コード館内に事務所を置く予定と聞いていることから、ガイド研修やガイドマニュアルなどを作成し、レ・コード館運営の工夫に努めているところであります。

学社融合に関する取組について

少年国内研修交流事業として小中学生20名により、1月11日から3泊4日の日程で沖繩での研修、交流事業を実施いたしました。その研修報告会が2月10日に行われ、父母を始め多くの参加者のもと、子ども達全員が電子ボードを使って初めての報告会をしたところであります。

図書プラザ事業に関する取組について

町内の小中学生を対象とした第28回森みつ少年少女文芸賞の授与式を1月9日に実施しました。各学校から詩と作文合わせて124点の応募があり、選考した結果7点の優秀作品と1点の特別賞の表彰を行いました。

社会体育事業に関わる取組について

総合型スポーツクラブNI・SPOの育成事業として、1月12・13日の1泊2日の日程で、日高町においてウインターフエスティバルを開催し、児童生徒59名の参加があり、他町との交流も行ってまいりました。

また、2月16日から3日間の日程で、

次は、豊かな心身の育成についてであります。スケートリンクについては、今年も朝日小学校に開設し、体育の授業として12日間、638名の利用がありました。さらに1月下旬から土曜日曜の6日間の開放を行い、休日には87名の利用があったところであります。

認定こども園開設に向けた取組について

2月22日に、施設の引き渡しを受けたところであり、27日には、町民への内覧会を実施したところ、町外からの来訪者もあり、300名余の方が訪れました。

現在、備品等の搬入を行い、4月4日の開園に向け、準備を進めております。

また、遠距離通園児の対策として運行する通園バス運行業務委託におきましては、2月28日に指名業者2社による



親子ふれあい体操教室が行われ、本年度2回目の教室に延べ101名の参加がありました。

教育委員の活動について

教育委員の活動についてですが、2月16日、本年度2回目の学校訪問を行い、授業の様子を参観した後、学校の状況や学校評価について校長より報告を受け、今後に向けた課題、取組等について意見交換を行いました。

来年度の学校経営への課題を明らかにするとともに、その解決のための学校支援について教育委員の積極的な提言などがあつたことを報告申し上げ、教育行政報告とします。

条例

- 新冠町有償旅客自動車運送事業の実施及び運営に関する条例
- 新冠町子ども発達支援センター条例
- 新冠町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 新冠町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
- 新冠町郷土資料館条例の一部を改正する条例
- 新冠町議会委員会条例の一部を改正する条例

る指名競争入札を行い、委託業者も決定いたしましたので、今後、路線の試運転や業務打合せを綿密に行い、安全運行の確保に努めて参ります。

現在、123名の入園予定となつておりますが、3月12日には、入園児の保護者を対象に入園説明会を開催することとしております。

「保育士の研修」では、平取養護学校の校長先生を招聘し、障害の疑いのある児童の発達を促すための接し方など、認定こども園における、特別支援教育の在り方について実践的な研修を行いました。

認定こども園開設に係る予算につきましては、通園バスの購入において、当初、2台の購入予定のところ、入園申込の状況から、1台での運行で対応可能となりましたので、1台分の減額補正予算を計上しております。また、購入に際し、北海道地域づくり総合交付金の交付決定がありましたので、併せて追加補正予算を計上しております。

また、施設の建築に対する、安全安心な学校づくり交付金においては、国からの交付額が増額されたこと、加えて、町債におきましては、バス購入に係る補助残分が過疎債の対象となり増額となったことから、追加補正予算を計上しております。

これらのことから、認定こども園全休事業費における一般財源は、当初予算と比較し、2,193万9千円減の、4,773万円の見込みとなりました。

社会教育事業に関わる取組について

まず、社会教育委員の活動につきまして、初の試みとして教育委員と社会教育委員の懇談会を2月8日に開催し、生涯学習社会の実現に向けた相互連携、教育行政について研修を深めていただいたところでありました。

文化・音楽事業に関する取組について

1つ目は2月15日に札幌市にある石屋製菓、白い恋人パークにおきまして今年2回目となる出張レコードコンサートを実施しましたし、また、2月26日、今年度10回目を数えるパートナーシップコンサートが行われ、新冠小学校高学年がオープニング曲を歌い、レ・コード館ジュニアジャズバンドが昭和音楽大学生と一つの曲を伴に演奏する



新しい先生が着任されました

4月5日、新冠町役場で平成23年度の教職員着任式が行われ、小林教育委員長より、新たに新冠町に赴任、任用された先生、5名に、辞書書が交付されました。新天地で期待や不安はあると思いますが、子どもたちのために、頑張ってください。



【左から】
 ①新冠中学校／浅岡潤教諭 ②新冠中学校／石川さや香教諭 ③新冠中学校／坂本年光校長
 ④新冠中学校／土屋和香子教諭 ⑤朝日小学校／村田理絵教諭